

具体項目

観点		発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
1 での の特 長	教育基本法の理念や第二期長崎県教育振興基本計画	(1) 達成しているが、教育が目指す人間像の目的及び教育の目標の達成と	<ul style="list-style-type: none"> 動物を飼育する際は、傷つけたりしないこと、最後まで責任もって飼育することを注意事項として示している。また、読み物資料「科学でGO!防災大陸」を設定したり、多くの命を救った心臓外科医の紹介を行ったりするなど、生命に関心をもたせ、生命尊重の態度が養われるよう配慮されている。 読み物資料のテーマの一つとして、「科学でGO!エコ大陸」を設定したり、多くの単元において環境とかわりのある写真や説明を多く掲載したりすることで、環境への意識が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に応じて、日常生活での事故や災害から身を守るための読み物資料を多く掲載したり、「安全」マークをつけて意識が高まる工夫をしたりすることで、生命尊重の態度が養えるよう配慮されている。 読み物資料の中で、自然環境の保全にかかわるところに「環境」マークをつけ、環境保全に寄与する態度が高まるよう配慮されている。また、「科学史」では、学習内容に関連のある科学者の紹介や「そのころの日本」の歴史的出来事を紹介し、国際社会の発展と日本の歴史を関連付けてとらえることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を深める話題である「科学の窓」を学習のまとまりごとに掲載し、日常とのつながりを意識した話題を多く取り上げることで、生命尊重の態度が養えるよう配慮されている。 各学年において学習内容と環境とを関連付けたコラムを掲載することで、環境保全への意識が高まるよう配慮されている。また、第3学年の最終単元において「自然・科学技術と人間」を設定し、中学校理科のまとめとして自然と人とのかわりについて考えさせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に本学年と次学年の学習内容を掲載し、3年間を通して段階的に「生命」の領域を学習していくことを明示することで、学習のつながりを意識させる構成になっている。生物の多様性や仕組みの精妙さを学年ごとに徐々に身に付けていき最終的に生命を尊重する態度が養えるよう工夫されている。 読み物資料等の囲み記事のタイトル横に「環境」等のマークをつけることで、それぞれの話題が自分達とどのようにかかわっているかを具体的にイメージすることができ、環境保全への意識も高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の構成において、「生命」の領域を各学年の最初に配置し、自然界に生息する様々な動植物の写真や生物の進化、命の連続性についての解説を掲載することで、生命の尊さを実感できるよう配慮されている。 巻末の地域・環境資料集に、全国各地の多様な自然環境を紹介するとともに、第3学年の「環境」の領域において、人間の生活が自然環境に与える影響や環境保全について学習を深めることを通して、環境保全に寄与する態度が養えるよう配慮されている。

具体項目

理科

観点	発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
<p>1 踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p> <p>教育基本法の理念や長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を</p>	<p>(2) 郷土「長崎」の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳を日本の代表的な火山として取り上げ、その形や噴火の様子、火山灰の写真や図を掲載したり、火砕流の発生について説明したりしている。また、島原半島ジオパークを紹介することで、本県の自然事象を題材とした学習に取り組みやすくなっている。 雲仙普賢岳を火山の形のモデルとして提示したり、調べ学習では、雲仙岳災害記念館を提示したりすることで、自分たちの住む地域の自然の恵みと災害について取り上げ、本県の自然事象を題材とした学習を通して、内容の理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳の噴火の様子や火山噴出物、火砕流、土石流被害、平戸市のれき岩、佐世保市のシジミの化石など地学分野に関する写真が多く掲載されている。また、島原半島ジオパークの紹介や雲仙岳災害記念館、長崎ペンギン水族館の写真が掲載されており、本県の自然事象に関する学習に取り組みやすくなっている。 調べ学習では、雲仙普賢岳の噴火の様子や火山の形、噴出物を調べたり、住んでいる地域の特徴的な気象災害や災害を防ぐ工夫について調べたりしており、本県の自然事象を題材とした学習を通して、内容の理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳からの火砕流の様子や火砕流発生前後の比較画像及び、雲仙普賢岳を含む日本の火山の分布図が掲載されており、本県及び九州の自然事象に関する学習に取り組みやすい内容になっている。 火山灰に含まれる鉱物を調べる学習において、三原山と雲仙普賢岳の火山灰が取り上げられ、含まれる鉱物の違いによって、山の形や火山が与えた影響などについて学びが広がり、本県の自然事象を題材とした学習を通して、内容の理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙岳の火山灰の写真やマグマのねばりけの違いによる火山の形や噴火の違いを示す例として雲仙岳の写真がそれぞれ掲載されている。さらに島原市防災避難マップと火砕流・土石流それぞれの被害の様子の写真が掲載されたり、島原半島ジオパークが紹介されたりするなど、本県の自然事象に関する学習に取り組みやすくなっている。 「調べよう」では雲仙岳の写真とともに山の形や噴火の様子、溶岩の色を伊豆大島と比較させる学習活動を設定している。また、「話し合おう」では、島原市防災避難マップと火砕流・土石流それぞれの被害写真から起こりうる被害を考えさせる学習活動を設定するなど、本県の自然事象が課題として取り上げられており、学習意欲の高まりが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙岳の火砕流の様子や溶岩の写真、平成新山の成り立ちが掲載されている。また、「島原大変肥後迷惑」についての説明や雲仙普賢岳周辺の砂防施設の写真が掲載されるなど、本県の自然事象に関する学習に取り組みやすくなっている。 「地域・環境資料集」において、九十九島に関する地殻変動の例や有明海の干潟が紹介されている。また、調べ学習では、地域の自然からの恩恵と自然災害についての調査があり、本県の自然事象を題材とした学習を通して、理解が深まるよう工夫されている。

具体項目

理科

観点		発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
2	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験に必要な技能を「基礎操作」として示したり、学習のまとめごとに「まとめ」や「章末チェック」の項目を示したりすることにより、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 学習に関連する内容として、他教科を含めた既習内容を示すとともに、つまずきやすい内容にはポイントを示したり、例題を設けたりすることで、学習内容を繰り返し確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験を行う上で必要な「基本操作」が示してあり、計算などのつまずきやすい内容では、例題を設け、関連する既習事項にも触れることにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。 各単元の初めに小学校からの学習内容が示され、学習を進めるなかでも「思い出そう」で既習事項を振り返ることができるようになっている。さらに、各単元のまとめにはキーワードが示してあり、学習内容を繰り返し確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験に必要な基本操作を示したり、観察、実験結果例に対応した結果と考察・まとめを明確に区別して詳しく解説したりして、意図的に繰り返しの学習を設定することで基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう配慮されている。 すべての学年の巻頭には「観察、実験の進め方」「教科書の使い方」を分かりやすく示し、また巻末には資料として観察、実験や科学的思考に必要な基礎操作や基礎知識を掲載することで、学習内容を繰り返し確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の区切りごとに「要点チェック」欄を設け、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかを確認することができるよう工夫されている。また単元末には「要点と重要用語の整理」「基礎・基本問題」「活用・応用問題」をそれぞれ2ページずつ、更に巻末には「学年末総合問題」を3～4ページ設けることで基礎的・基本的な内容の定着を図るよう配慮されている。 各単元の初めに各章の学習内容と既習内容（小学校を含む）との関連を示すことによって、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。また、本文中にも必要に応じて「思い出そう」欄を設置し、既習内容を確認できるよう配慮されている。さらに、巻末に「理科で使う算数・数学」や実験器具の「基礎技能」が確認できるページを設け、つまずきに対処できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元末の学習のまとめなどにおいて、青色シートを使って用語を覚えているか確認できるよう工夫されている。また、学習内容を整理し、基礎の確認から応用までの力を付けるための別冊「マイノート」を活用することにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。 これから学習する内容について、「ふり返り」の欄を設定し、既習事項を振り返る場面や小学校や他学年、他教科との関連を示すなど、学習内容を確認する工夫がなされている。また、「なるほど」マークを付けて、まちがいがいいことなどを示し、正しく理解できるよう工夫されている。

具体項目

理科

観点	発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(2) 知識・技能の判断力を活用して課題を育成させるために必要となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」を明記し、得られたデータを分析・解釈することで、科学的な根拠を踏まえ、論理的な思考ができるよう工夫されている。 学習のまとめごとに「学びを活かして考えよう」を設定し、課題を提示したり、単元末で「学びを広げよう」を設定し、自由研究の内容を紹介したりすることで、習得した知識・技能を意図的に活用させる学習に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験では、「結果の整理」や「結果から考えてみよう」により、結果を整理したり、考察したりするときのポイントが示され、思考力・表現力が養えるよう配慮されている。 各単元の終わりに、「学んだことを活かそう」を設定し、課題研究に取り組ませたり、単元末問題の最後に、「読解力問題」に取り組ませたりすることで、思考力・表現力が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての単元の構成において、題材の学習前に「話し合ってみよう」、学習後に「問い(活用、表現)」が掲載され、言語活動を行って学習する場面を繰り返し設定することで、科学的な思考力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。 学習のまとめごとに「チャレンジ」を設定し学習内容を活用した実験に取り組ませたり、「問い」や各単元末の活用問題に取り組ませたりして、思考力・判断力の育成が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題提示の後に生徒の既習内容と照らし合わせて可能な限り「話し合おう」欄を設け、課題解決のための実験方法を考えさせたり、実験結果を予想させたりする活動を取り入れ、課題解決に必要な思考力・判断力が育成されるよう工夫されている。 学習内容の区切りに「活用しよう」欄を設け、身の回りで見られる現象等を既習の知識・技能を活用して考え、説明させる言語活動を取り入れている。また「わたしのレポート」欄を適宜掲載することで文章表現の模範例を示し、表現力を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各題材ごとに「予想してみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「活用してみよう」を設定し、探究的な学習サイクルを通して、科学的に思考する力を高めることができるよう工夫されている。 巻末の「サイエンス資料」「研究や調査」におけるICTの効果的な活用、計算を伴う問題における数学との関連、グループ学習における効果的な話し合いなどを設定し、思考力や表現力が身に付くよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 探究の流れを示し、結果に基づいて論理的に考え、表現する具体例として「レポートの書き方」や「考察、話し合い、発表の仕方」を示したり、コンピュータ、インターネットを利用して効果的に学習するところを示したりすることにより、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 各章の学習の始めと終わりに「before & after」を設定し、学習内容に関する問いかけを行っている。また、「確かめと応用」による学習内容の確認や「科学の本だな」による関連する図書の紹介を通して、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習内容に応じて学年の初めに「継続観察」を設定したり、「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」を設定したりすることで、主体的な探究活動に取り組めるよう工夫されている。 第1学年で、基本操作としてノートやグラフのかき方を示し、各単元で「わたしのレポート」として具体的に例示することにより、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに各単元の学習内容を生かした仕事を紹介したり、仕事に従事している人へのインタビュー記事を紹介したりして、今の学習と将来とが繋がっていることを実感させ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 すべての題材において「話し合ってみよう」「課題」「観察、実験」「結果」「考察とまとめ」「問い(活用、表現)」という学習過程を明確にすることで、学習習慣が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書巻頭の「理科学習の進め方」において科学的な探究の方法について明示している。また随所に課題解決のための実験方法を自分たちで考える活動を取り入れることで、見通しをもって主体的に学習に取り組む態度が養われるよう工夫されている。 「調べよう」や「活用しよう」欄において既習内容に基づいた新たな課題等を提示することで家庭等での継続的な学習活動を促し、学習習慣が身に付くよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに、「単元のねらい」として各章の課題を示し、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。また、巻末の「きみも科学者」において、「探究の道しるべ」を示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 単元ごとの「学習のまとめ」や「わたしのレポート」において、基礎的・基本的な学習内容を確認したり、具体的な学習のまとめ方を豊富に示したりすることで、学習習慣の定着が身に付くよう工夫されている。

具体項目

理科

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
観点	2					
	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長					
	(4) 工夫がなされているか。日常生活との関連を図り、体験を重視した教材の	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み物「科学でGO!」では、乾くと色が消えるのりやプラスチックと医療の関係を紹介したり、「from JAPANニッポンの科学」では、再生科学への挑戦や下町ボブスレーを紹介したりするなど、日常生活や社会との関連を図りながら学習内容の理解が深まるよう配慮されている。 ・ 「どこでも科学」として、レモンを使った電池づくりやループコースターづくりなど、身の回りのものを利用したものづくりを示すことで、体験を基にした学習がなされるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「プロフェッショナル」では、学習内容にかかわる職業をとりあげ、「くらしの中の理科」では、食べ物や乗り物、電化製品など具体例をあげて、学習内容と日常生活との関連付けが図られるよう配慮されている。 ・ 「ものづくり」で自作の例を紹介したり、「学んだことを活かそう」で、単元で学習したことを活用した観察、実験に取り組んだりすることで、体験を重視した学習が展開できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の理解を深める話題である「科学の窓」において、各学年のほぼすべての題材に「日常とのつながり」が掲載され学習内容と日常生活との関連付けを図りながら学習が進むよう工夫されている。 ・ 応用的な観察、実験やもの作りなどの「チャレンジ」において、基礎的・基本的な知識・技能を応用させた活動例を豊富に示し、体験を通して実感を伴った理解が図られるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容に関連する読み物資料「ハローサイエンス」に日常生活とかかわりの深い事象・事物を数多く取り上げ、更にそこに「生活」マークを付けることで日常生活との関連をより意識させるよう工夫されている。 ・ 各巻末にその学年での学習内容に関連した施設を紹介した「校外の施設を活用しよう」を掲載し、施設での体験に興味・関心をもてるよう配慮されている。また、体験の一助となるような付録を巻末に配し、探究的な体験が行えるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「部活ラボ」や「先人の知恵袋」「はたらく人に聞いてみよう」を設定し、科学の話題や生活への工夫、実際にどのように生かされているかなどの例を取り上げることで、日常生活と関連付けて理解が深まるよう工夫されている。 ・ 「別の方法にトライ」や「発展」において、別の実験や学習内容をさらに発展させた内容を示すことで、体験の機会を増やすことができるよう配慮されている。
	(5) 観察、実験は、目的意識をもって取り組めるよう工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験では、「観察、実験の目的」を明記するとともに、キャラクターを用いて目的にかかわる内容を示すことにより、目的意識をもって取り組めるよう配慮されている。 ・ 学習過程において観察、実験を行う前に、「予想しよう」を設定したり、観察、実験の手順をステップとして示し、段階的に取り組めるようにしたりして、目的意識をもって取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習課題」をマークやキャラクターのせりふで観察、実験の目的や着目点を示すことにより、目的意識をもって観察、実験に取り組めるよう工夫されている。また、「もつと」で、興味・関心に応じて追加実験を行えるよう配慮されている。 ・ 観察、実験の手順や方法を写真などで示したり、準備物にチェックボックスを付けたりするなど、分かりやすくまとめられている。また、結果からわかることやまとめを次ページに掲載する構成となっており、目的意識をもって取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各観察、実験の前に、必ずクエスチョンマークとともに観察、実験の課題が明記されている。また、観察、実験の視点となる用語や現象を明記することにより、目的意識をもって観察、実験に取り組めるよう配慮されている。 ・ 学習を進める上での疑問点や要点を、観察、実験の結果、考察の視点を明確に掲載することで、課題に対応した観察、実験のまとめができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験の課題をクエスチョンマークと枠囲み・太字にすることで明確にするとともに、単元初めの扉ページや当該実験のページの周辺にキャラクターを登場させ、より身近なレベルの疑問やヒント等を言わせることで、一層目的意識をもって観察、実験に取り組めるよう工夫されている。 ・ 観察、実験の「方法」のページは、必ず見開きもしくは奇数ページに配し、「結果」は次ページに掲載する構成になっており、安易に結論が目に入らないようにすることで目的意識や意欲を持続させて活動に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験の「目的」「方法」「結果」「考察」を明確に示し、ステップを確認しながら、見直しをもって実験に取り組めるよう工夫されている。また、イラストを用いて、実験にかかわる内容を示すことで、目的意識をもって取り組めるよう工夫されている。 ・ 観察や実験の結果と考察をまとめるポイントや「わたしのレポート」、「実験のスキル」として、観察、実験器具の使い方などを詳しく示すことで、観察・実験が進めやすいよう配慮されている。

具体項目

理科

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
<p>観点</p> <p>2 な 学 習 指 導 要 領 の 目 標 や 内 容 等 を 踏 ま え て 確 か</p>	<p>(6) さ れ て い る か。</p> <p>観 察 、 実 験 等 に お け る 、 安 全 面 へ の 配 慮 は な</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験の「基礎操作」において、「安全のための注意」を朱書きで具体的に記述するとともに、換気、保護めがねの着用など、注意を促す5つのマークを記述することで、生徒が安全に留意して取り組めるよう配慮されている。 ・ 巻頭・巻末資料として、「理科室のきまりと応急処置」「薬品の取り扱いの注意」「地震発生時の対応」が全学年に掲載され、観察、実験における安全面への配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故や危険を防ぐために、「注意！」マークと枠囲み、背景色で目立つように表示することで、生徒が安全に観察、実験に取り組めるよう配慮されている。 ・ 全学年、巻末資料に「化学実験を安全に行うために……」や「化学実験の基本操作」が掲載され、どの学年でも常に安全面に留意して、観察、実験に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「注意」の記号で表示された記述の中に、根拠を明確にした具体的な安全面に關する内容を太字で記し、生徒が安全面に留意して観察、実験に取り組めるよう配慮されている。 ・ 巻末資料として各学年に12～18項目の基礎操作が掲載され、各学年の内容に応じたものを掲載したり、全学年共通の重要事項については繰り返し掲載したりすることで安全面に留意して観察、実験に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験における安全上の注意事項を5種類の記号で示し、実験の手順に沿って必要なポイントに配することで生徒への注意を促す配慮がなされている。特に禁止事項は朱書きで強調することで、生徒の安全が、より確保されるよう工夫されている。 ・ 全学年とも巻末に「基礎技能」という項目を設けて当該学年終了までに扱うすべての試薬の取り扱いや実験器具の操作の注意事項等が一括して掲載されており、その都度、必要に応じて速やかに手順等を確認できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面に關する事項を9種類の記号を用いて示し、注意事項は朱書きで強調することにより、生徒が安全面に留意して観察、実験に取り組めるよう配慮されている。 ・ 巻末の「サイエンス資料」において、各学年の教科書に登場する主な物質や薬品の性質、取り扱いの注意が掲載されている。また、実験を伴う領域の初めには実験を安全に進めるための注意事項や器具の基本操作が掲載され、安全面への配慮がなされている。
	<p>3 の 観 点 か ら の 表 記 ・ 表 現 や 見 や す さ 等 の特 長</p>	<p>(1) 述 文 章 は と な つ て い る か。</p> <p>分 か り や す く、 質 ・ 量 と も に 豊 か な 記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元初めの学習のねらいに学習内容が示されるとともに、単元末の「学習の内容」に、重要語句についての説明がなされていることで、学習内容の確かな理解に配慮されている。 ・ 読み物「科学でGO!」のコーナーを設定し、科学の有用性や科学史、環境、防災にかかわる内容などに触れ、理科を学ぶ意義が伝わるよう記述がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辞書マークを付けて、言葉や記号の意味や語源を分かりやすく記述したり、各単元末のまとめに「キーワード」の欄を設けてチェックボックスで確認できるようにしたりするなど、学習内容の確かな理解に配慮されている。 ・ 「くらしの中の理科」や「トピック」のコーナーを設定し、日常生活や社会と関連する読み物を取り上げ、科学の有用性を意識できるような記述がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の学習前に「これまで学んできたことをチェック」を図解で分かりやすく提示したり、本文中に学習のまとめごとのキーワードを記号(や)を用いて記述したりするなど内容を整理しながら学習が進められるよう配慮されている。 ・ 学習内容の理解を深める話題である「科学の窓」が、学習のまとめごとに日常や歴史、環境、資料などの視点で記述されており、豊かな視点で学習内容が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を通して平易な文章で記述され、ふりがなも豊富で読みやすい。欄外の脚注が多く、また図表・写真についての説明も必要に応じてしっかりなされており、学習内容の確かな理解に配慮されている。 ・ 「ハローサイエンス」のコーナーを設定し、発展的な内容も含めて科学の話題を豊富に掲載している。加えて「生活」「安全」「歴史」「環境」と関連するテーマを明示することで、よりの絞った理解がなされるよう配慮されている。

具体項目

理科

発行者		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
3 記・学習効果や表現や体裁の良さ、見やすさ等、ユニバーサルデザインの視点からの表	(2) れも写真に挿絵、図表などとは学習意欲を高めると配慮さ	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭や各単元の初めに学習内容にかかわる大きな写真や挿絵を掲載したり、漫画による人物紹介を行ったりすることで、生徒に興味をもたせ、学習意欲を高めるよう工夫されている。 操作方法を分かりやすく示した図を用いて、観察、実験の手順が理解しやすいよう工夫されている。また、連続写真や段階を追った図や写真を提示することで学習内容の理解が深まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の初めに、これまで学習したこととこれから学習することが系統的に示し、理解が深まるよう工夫されている。 各学年の巻末に、ジオパークや動物園・水族館、ノーベル賞受賞者の写真が数多く掲載されており、科学への関心が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭にはこれから学ぶことに対応した見開きの大きくて鮮明な写真を用いたり、本文中にも学習事項に対応した見やすい大きさの写真や図を用いたりして、学習意欲が高まるよう工夫されている。 学習のまとめりに解説図版を見やすい大きさに統一したり、他教科とのつながりや、日常とのつながりを解説したりして、学習意欲や学習効果の向上が配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1コマ漫画的なイラストやパラパラ漫画風にコマ割の手法を用いたイラストを適切なポイントに掲載することで、とらえにくい内容を視覚的に理解したり、動的なイメージを直感的に理解したりすることができるよう工夫されている。 全学年とも学習内容にかかわる「見過ごしがちな日常生活の1コマを切り取った写真」や「通常見ることのできない珍しい瞬間や事象の写真」を多用しており、課題解決の意欲が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の初めには、生徒の興味・関心を高める大きな写真を掲載するとともに、学習対象や実験方法などを図表や挿絵で示すことにより、理解が深まるよう工夫されている。 学習内容に対する疑問や分かったことなどを、親しみやすい挿絵と吹き出しの文章で示し、学習意欲を高め、理解が深まるよう工夫されている。
	(3) レイアウトや紙質、色彩、文字の大きさ、挿絵	<ul style="list-style-type: none"> 文字が大きく、行間が広めにとってある。また、本文中に図の番号を記し、よく関連が図られている。単元ごとにページの色分けがなされ、見やすくなるよう配慮されている。 見開き2ページの掲載が多く、個々の図や写真等が大きく掲載されている。巻末に切り取って使用できる資料教材を添付している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元末のまとめや単元末問題では、各章の題名や公式の背景や図に着色することで、理解しやすいよう配慮されている。 生物・化学・物理・地学のそれぞれの分野ごとに、パステル系の色で分けてあり、見やすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面に関わる「注意」以外は、全体的にパステル系で目にやさしい配慮をした。文字の大きさは基本的に本文の大きさに揃えたりして、生徒の読みやすさを考えたレイアウトや構成となっている。 血液の電子顕微鏡写真を分かりやすく着色した写真で掲載したり、魚のえら、ヒトの心臓、肝臓、脳などを写真で分かりやすい大きさに掲載したりして、学習内容に関わる本物の素材を活用するよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来より総ページ数を各学年50～70ページ増やすことで、図表や写真を大きくし、配置も視覚的にとらえやすくするなど見やすくなるよう配慮されている。 巻末に、それぞれ切り取って使用できる付録教材を添付している。第1学年はカメラ作成シート、第2学年は原子のモデルカード、第3学年は星座早見盤である。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の説明と図や写真の関連がわかるように番号を記している。また、単元ごとにマークを色分けするなど見やすくなるよう配慮されている。 各ページに多くの図や写真、挿絵を掲載し、分かりやすい構成になっている。また、「私のレポート」における生徒の記述例は、行書体にするなど、親しみやすく記されている。